

## インド（アフリカ）旅行事の衛生上の注意

医学博士 森久保 茂

今回の皆既日食はインド、アフリカ等熱帯地方に起るため、観測地の衛生上の立地条件は決して良好ではなく、特に大都会から離れた地方にて観測を行わねばならぬインドでは十分に衛生上の注意が必要であろう。

先ずこの地方に流行する疾患としては、コレラ、ペスト、デング熱、黄熱、マラリア、アmeerバ赤痢、などがある。

### 1) コレラ

コレラには激烈な、アジア型と症状は軽いが日本にもよく持ち込まれる、エルトール型がある。予防接種はインド、アフリカの入国時には強制的でないが、日本に帰国するときは施行を要求される。自衛のためにも受けて置いた方がよい。1週間おきに2回に分けて行う。

すべて予防接種は3週間以上経たないと効果（免疫）が現われないから1ヶ月以上前に受くべきだ。海外旅行のための予防接種は全て指定の場所で行い証明書を受けることになっている。

### 2) ペスト

ペストは、ねずみ、等の病気で、ノミによって人間にうつされるので流行するとその防疫は大変めんどろであるが、現在流行地はなく、今回は予防接種は要求されていない。

### 3) 痘瘡（天然痘）

去る10月WHOは世界より天然痘を撲滅したと宣言した。これは誠に画期的なことで、我国でも既に定期種痘を廃止しているが、海外旅行には強制的ではなくとも当分続けるとと思われる。コレラの予防接種と同様に所定の処で受けること。有効期間は3年。

### 4) 黄熱

アフリカに行く人は予防接種（弱毒生ワクチン）を受けた方がよい。有効期間は10年。これは高熱、出血、肝障害を来す病気で死亡率は10%程。ヤブカ属（*Aedes*）の一種 *Ad. aegypti* *Ad. africanus* 等により伝播される。都会地ではあまり心配ないと云われる。この蚊は夕方や、うす暗い室内で活動するから注意のこと。

### 5) デング熱

これもヤブカ属の蚊によって伝播される。病原体は、痘瘡、黄熱と共にウイルス。1週間程高熱が続き、胃腸障害、出血等に苦しむが死亡率は殆んど0である。

### 6) アmeerバ赤痢

病原体は原虫。細菌性赤痢に似て頻回の下痢に苦しむ。慢性になり易く粘血便が続く。生水生物は食さぬこと。

### 7) マラリア

熱帯地方では最も注意すべき疾患である。原住民の殆んどが罹患している。最近南方への旅

行者で罹患するものが多い。これには、三日熱、四日熱、熱帯熱、等の型があり、定期的に悪感戦慄と共に高熱を発する発作を繰越す。熱帯熱は発作も不規則で脳症を起し易く危険である。病原体は原虫(Plasmodium)である。Anopheles(ハマダラカ属)によって伝播される。この属に属する蚊は南方では30種程居るが、全ての種がマラリアを伝播するのではない。特に伝播力の強い蚊は、An.minimus An. maculatus An.

leucosphyrus 等山岳地帯に居るものである。蚊に刺されない服装を整えて、蚊取線香、殺虫剤、防虫クリーム等を使用すべきである。星野写真撮影など夜間の活動の際には特に注意し、寝室には蚊帳を用いること。

予防治療薬として古典的な塩酸キニーネ、アテブリン、プラスモヒンの他最近ではクロロキン、レゾヒン等が開発されているが、就れも現在キニーネを除き入手困難である。

次に毒蛇毒虫についての注意を述べる。都会地に於いては毒蛇毒虫の心配はあまりないと見てよいと思うが、草原やジャングル等には注意を要する。日食観測のための器機の据附にも、開けた土の上を選ぶべきで、草原の中はさけた方がよい。毒蛇には種類によっては治療血清がある。救急処置としては、咬傷口を切開して毒を吸い出し、中柁側を固く結紮する。但しこの結紮は2時間をこえてはならない。

さそりは致命的な害はないにしても、刺されれば非常に痛い。夜間靴の中になどひそんでいることがあるから、朝靴をはく前に、さかさにして中をたしかめた方がよい。

蚊は上記の様に種々の疾患を伝播するので、さされぬ様に服装に注意し、蚊取線香、殺虫剤等用意すること。

次に飲食物であるが、コレラ、赤痢、チフス、アメバ赤痢、等の伝染病の他、熱帯地では下痢に悩まされることが多いが、これらの予防のため、現地では絶対に生水、生物を口にしないことが大切である。露店の飲食物も求めないこと。水は一旦沸騰したものを飲むこと、このため水筒など用意するのもよい。又食事前には手を洗い、洗えないときはアルコール綿を用意して置いて手指の消毒をするとよい。

以上の様な状況を基に旅行に持参すべきものを一括して次に挙げて見よう。

1) 内服薬 : 胃腸薬(胃散など) 止痢剤(クレオソートなど)  
解熱剤(鎮痛剤) 抗生物質(入手出来れば)

外用薬及び繃帯材料 : マーキエロクローム(赤チン)  
消毒用エタノール(70%エチールアルコール)  
脱脂綿 繃帯 バンドエード 等

其他 : 殺虫剤(噴霧用) 蚊取線香 防虫クリーム(塗布用) 水筒

服装についても暑さのみ考えず、一応冬期であるから高原の大陸的気候も考慮し冬物を用意した方がよい。又観測時の日よけとして帽子、雨傘も用意するとよいと思う。